

《担当者名》橋本 菊次郎 hashimoto-kiku@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

精神保健福祉領域におけるソーシャルワーカー実践は、他の領域と同様に個別援助、集団援助、さらにはコミュニティー支援の過程として一体的に展開されるが、わが国固有の課題である入院偏重や過剰病床、多剤多量問題、身体拘束に象徴される人権問題、地域移行支援に象徴される独自の課題をかかえており、精神障害者などの置かれた社会的な現状理解を踏まえながらあるべきメンタルヘルス分野のソーシャルワーク実践のあり方の在り方の基本を学ぶことになる。

【学修目標】

精神保健福祉の国際的な動向を理解し、我国の精神保健福祉の現状と課題を踏まえたソーシャルワーク実践の基本的考え方を理解する。
精神科リハビリテーションの歴史、概念、構成を理解し、ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）がチームや地域における役割の展開の基礎を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	精神医療と精神障害者施策の歴史	・精神保健福祉施策の歴史的な変遷を学ぶ。	橋本
2	精神医療の動向とその課題	・国内外の精神医療の動向と我が国における精神保健福祉の課題を学ぶ。	橋本
3	精神障害における障害の構造	・精神障害の障害特性について学ぶ。	橋本
4	精神障害における障害の構造	・精神障害を抱えて生きる人の”生きにくさ”について学ぶ。	橋本
5	精神障害者へのソーシャルワーク実践の基本と理念	・ソーシャルワーク実践の精神保健福祉分野における展開の基本とそれを支える理念をリカバリー概念に基づいて学ぶ。	橋本
6	精神障害者への個別支援の基本と理念	・精神障害を持つ人の生活課題に沿った、具体的な個別支援について学ぶ。	橋本
7	精神障害者への個別支援の展開	・精神障害者の個別支援の実際を事例に即して学ぶ。	橋本
8	精神障害者へのグループワークの基本と理念	・対人援助と並んで集団援助は、ソーシャルワーク実践の重要なアプローチの一つである。その基本と理念を精神保健福祉領域に即して学ぶ。	橋本
9	精神障害者へのグループワークの展開過程	・精神保健福祉領域における集団援助を具体的な事例に即して学ぶ。	橋本
10	精神障害者へのグループワークの実際（事例学習）	・精神保健福祉領域における集団援助の展開の過程をSST（生活技能訓練）など目的に即して学ぶ。	橋本
11	精神保健福祉領域におけるコンサルテーションの理念と実際	・専門職間の相互関係のなかで、それぞれの専門を超えて行われる助言や支援等に関するコンサルテーションの理念と実際を学ぶ。	橋本
12	精神保健福祉領域におけるソーシャルワーク実践とスーパービジョン	・ソーシャルワーカーのための教育・訓練活動として位置づけられるスーパービジョンを精神保健福祉領域で展開するための基本と実際を学ぶ。	長谷川未央（特別講師） 橋本
13	精神科リハビリテーションの理念、意義	・精神障害を持つ人の治療と回復に向けたリハビリテーションの理念について、その変遷とともに学ぶ。	橋本
14	精神科リハビリテーションと精神障害者理解の基本原則	・精神科リハビリテーションは、精神障害者理解と一体的に発展してきた。その基本原則をリカバリーの視点を交えて学ぶ。	橋本
15	わが国の精神科リハビリテーションの歴史、現状と未来	・精神科リハビリテーションのはじまりと、その変遷から今日の精神科リハビリテーションの意義と、取り巻く医療・保健・福祉の現状を知ることによって、今後のあるべき姿を考える。	橋本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
16	諸外国の精神科リハビリテーションの現状と課題	海外における精神科リハビリテーションの現状を知り、我が国の精神科リハビリテーションの在り方を考える。	橋本
17	精神科リハビリテーションの対象としての当事者理解の基本	リカバリーの視点に基いた当事者理解を学ぶ。	服部篤隆（特別講師） 橋本
18	精神科リハビリテーションの対象としての当事者理解（事例学習1）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける当事者理解を学ぶ（統合失調症を中心に）。	橋本
19	精神科リハビリテーションの対象としての当事者理解（事例学習2）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける当事者理解を学ぶ（依存症を中心に）。	宮崎寿一（特別講師） 橋本
20	精神科リハビリテーションの対象としての家族理解の基本	リカバリーの視点に基づいた精神科リハビリテーションにおける家族理解の基本を学ぶ。	橋本
21	精神科リハビリテーションの対象としての家族理解（事例学習）	実際の支援事例に基づき、精神科リハビリテーションにおける家族理解を学ぶ。	橋本
22	精神科リハビリテーションの実際（自助グループ支援）その1	精神科リハビリテーションプログラムとして注目されているセルフヘルプグループ、ピアサポートの基本と実際を学ぶ。	檜垣知里（特別講師） 橋本
23	精神科リハビリテーションの実際（認知行動療法）その2	精神科リハビリテーションプログラムとして注目されている認知行動療法の基本と実際を学ぶ。	橋本
24	精神科リハビリテーションの実際（心理教育）その3	精神科リハビリテーションプログラムとして注目されている心理教育の基本と実際を学ぶ。	橋本
25	精神科リハビリテーションの実際（アウトリーチ）その4	精神科リハビリテーションにおける重要なアプローチであるアウトリーチの基本と実際を学ぶ。	橋本
26	精神科リハビリテーションの実際（就労支援）その5	精神科リハビリテーションにおける重要な課題である就労支援の基本と実際を学ぶ。	橋本
27	精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割と意義	精神科リハビリテーションのプロセスにおける精神保健福祉士の果たす役割の基本を学ぶ。	橋本
28	チーム医療と連携における精神保健福祉士の役割	精神科リハビリテーションの基本であるチームアプローチと連携における精神保健福祉士の果たす役割の基本を学ぶ。	橋本
29	精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の共通技術	ソーシャルワーカーの共通技術であるマイクロ、メゾ、マクロ的な対象に向けた援助技術の基本を再確認する。	橋本
30	まとめ	一年にわたる基礎的な学習を振り返り、「理論と方法論」に向けた橋渡しとなる学習をする。	橋本

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

受講態度20%、レポート30%、試験50%により総合的に評価する

【教科書】

精神保健福祉の理論と相談援助の展開（中央法規）

【参考書】

講義で適宜紹介する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」に該当する

【学修の準備】

テキストについては、事前に読み、疑問点や質問したいことをもって講義に臨むこと。

予習は、次回の授業で行う学習内容について読み込み、理解できたことや疑問点などを明確にしておくこと（80分）。

復習は、授業で取り上げた学習内容について振り返り、理解を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

精神保健福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

精神保健福祉領域の医療機関、就労支援の現場での臨床経験に基づき、グローバルな視点から個人の自立のテーマに至るまで、精神障害者支援の課題の基礎的知識を講義する